

平成25年度 当初予算が成立

一般会計 205億6千万円 対前年度比 -1.3%

〈一般会計〉 歳入 (単位:千円)

区分	平成25年度		平成24年度		比較	
	予算額	構成比(%)	予算額	構成比(%)	増減額	伸率(%)
市税	3,277,402	15.9	3,344,248	16.0	△66,846	△2.0
分担金及び負担金	296,128	1.4	268,912	1.3	27,216	10.1
使用料及び手数料	520,091	2.5	533,168	2.6	△13,077	△2.5
財産収入	84,574	0.4	76,197	0.4	8,377	11.0
寄付金	501	0.0	501	0.0	0	0.0
繰入金	754,638	3.7	686,672	3.3	67,966	9.9
繰越金	200,000	1.0	200,000	0.9	0	0.0
諸収入	196,638	1.0	163,220	0.8	33,418	20.5
(自主財源)	5,329,972	25.9	5,272,918	25.3	57,054	1.1
地方譲与税	357,000	1.7	344,000	1.7	13,000	3.8
利子割交付金	6,100	0.0	8,100	0.0	△2,000	△24.7
配当割交付金	2,300	0.0	1,350	0.0	950	70.4
株式等譲渡所得割交付金	800	0.0	500	0.0	300	60.0
地方消費税交付金	338,000	1.7	358,000	1.7	△20,000	△5.6
ゴルフ場利用税交付金	11,600	0.1	11,800	0.1	△200	△1.7
自動車取得税交付金	62,300	0.3	46,000	0.2	16,300	35.4
地方特例交付金	7,300	0.0	25,300	0.1	△18,000	△71.1
地方交付税	8,634,000	42.0	8,805,000	42.3	△171,000	△1.9
交通安全対策特別交付金	7,200	0.0	8,400	0.0	△1,200	△14.3
国庫支出金	1,923,534	9.4	1,889,562	9.1	33,972	1.8
県支出金	1,972,094	9.6	1,938,770	9.3	33,324	1.7
市債	1,907,800	9.3	2,120,300	10.2	△212,500	△10.0
(依存財源)	15,230,028	74.1	15,557,082	74.7	△327,054	△2.1
歳入合計	20,560,000	100.0	20,830,000	100.0	△270,000	△1.3

歳出 (単位:千円)

区分	平成25年度		平成24年度		比較	
	予算額	構成比(%)	予算額	構成比(%)	増減額	伸率(%)
養務的経費	4,200,113	20.4	4,195,209	20.1	4,904	0.1
人件費	3,728,761	18.1	3,574,744	17.2	154,017	4.3
扶助費	2,353,074	11.5	2,367,169	11.4	△14,095	△0.6
公債費	10,281,948	50.0	10,137,122	48.7	144,826	1.4
小計	2,656,083	12.9	2,673,607	12.8	△17,524	△0.7
その他の経費	150,953	0.7	135,343	0.6	15,610	11.5
維持補修費	2,149,385	10.4	2,357,264	11.3	△207,879	△8.8
補助費等	115,427	0.6	115,613	0.6	△186	△0.2
積立金	2,397,343	11.7	2,391,147	11.5	6,196	0.3
繰越金	10,820	0.1	11,240	0.1	△420	△3.7
その他	7,480,011	36.4	7,684,214	36.9	△204,203	△2.7
小計	2,793,541	13.6	3,006,880	14.4	△213,339	△7.1
投資的経費	4,500	0.0	1,784	0.0	2,716	152.2
普通建設事業費	2,798,041	13.6	3,008,664	14.4	△210,623	△7.0
災害復旧費						
小計						
合計	20,560,000	100.0	20,830,000	100.0	△270,000	△1.3

3月定例会

平成25年度3月定例会は、2月19日から3月21日までの31日間の会期で行われました。平成24年度補正予算及び平成25年度当初予算などが審議され、議案47件、発議1件が可決されました。

各予算の主な内容

議会は、厳しい財政状況を踏まえ、第1次南九州市総合計画の第5期実施計画の実現に向けて、無駄のない効率的かつ効果的な予算となっているか慎重に審議しました。

一般会計

205億6000万円

歳入の自主財源については、市税や使用料などがわずかに減ったものの、繰入金や諸収入などの増により、1.1%の増となっています。

歳出の義務的経費については、扶助費が大きく伸びたことから、1.4%の増となっています。

物件費、補助費などのその他の経費については、一部の事務組合負担金等の減により、2.7%の減となっています。

投資的経費について

は、国の緊急経済対策により平成25年度予算計画分が平成24年度補正予算で前倒しされたため、7%の減となっています。

国民健康保険事業特別会計

62億5700万円

歳入については、国民健康保険税が、前年度課税見込や今後の被保険者の推移等から推計した結果、4.5%の減となっています。

また、資金不足分として一般会計から繰入しています。

歳出については、被保険者は毎年300人程度減少しているが、医療費は微増傾向となっています。

後期高齢者医療特別会計

5億3240万円

歳入については、後期高齢者医療保険料が1.5%の増となっています。

歳出については、医療費の伸びが微増となっています。

介護保険事業特別会計

44億3300万円

要支援者及び要介護者数は増加傾向にあります。

簡易水道事業特別会計

4億9080万円

穎娃谷場簡易水道施設整備、穎娃熊ヶ谷飲料水施設配水管拡張及び川辺簡易水道老朽管更新事業などが主なものです。

水道事業特別会計

資本的支出1億4400万6千円は、建設改良事業と企業債の償還が主なものです。